



仙台うみの杜水族館
SENDAI UMINO-MORI AQUARIUM

<報道資料>

報資—25—03

2025年5月

仙台うみの杜水族館

ホタル舞う、淡く優しい癒しの光!!

特別展示「ホタルの杜」

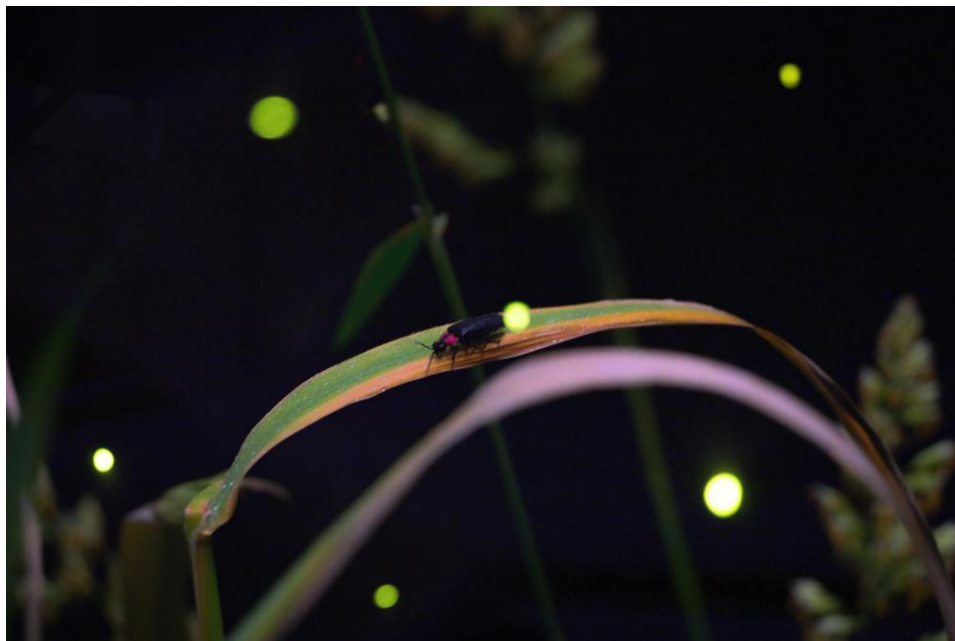
【2025年6月13日（金）～7月6日（日）】

海と人、水と人との、新しい「つながり」をうみだす水族館『仙台うみの杜水族館』では、2025年6月13日（金）～7月6日（日）の期間、初夏の風物詩である“ホタル”の幻想的な光を楽しめる特別展示「ホタルの杜」を開催いたします。

特別展示「ホタルの杜」では、当館の飼育スタッフが1年かけて繁殖・育成した「ゲンジボタル」、「ヘイケボタル」を約50匹展示いたします。

照明を落とした真っ暗な特設展示場の中をホタルたちが舞い、幼虫、蛹、成虫と変化する約1、2年の生涯の大半を水中で過ごし、わずか10日ほどの短い期間しか成虫として生きることのできないホタルの淡く優しい癒しの光をご覧ください。

当館では、2019年からホタルの繁殖に取り組んでおり、今年で7回目の開催となり、成虫の寿命は10日ほどのため、繁殖の時期をずらすなどして長期間の展示をできるように工夫しています。



<この報道資料に関する報道関係各位のお問い合わせ>

仙台うみの杜水族館 小畑、佐藤

TEL :022-355-2214 FAX:022-355-2225

kouhou@uminomori.jp

仙台うみの杜水族館HP <https://www.uminomori.jp>



仙台うみの杜水族館
SENDAI UMINO-MORI AQUARIUM

ホタル舞う、淡く優しい癒しの光 //

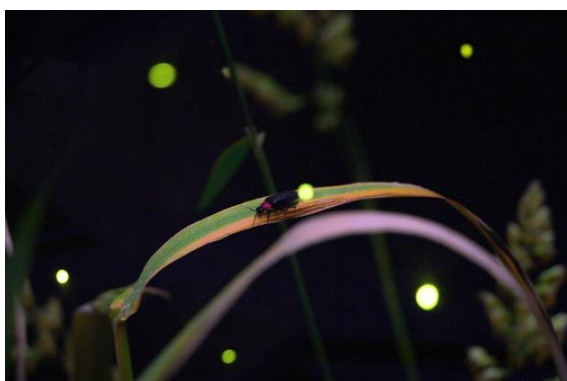
● ホタルの杜

特別展示「ホタルの杜」は、ほのかに光る美しいホタルの姿を観賞できる展示です。夜の原風景を再現した真っ暗な空間に設置された水槽の中に、これまでの飼育技術を生かして 1 年をかけて卵から育てたゲンジボタルとヘイケボタルの 2 種類を常時約 50 匹展示します。

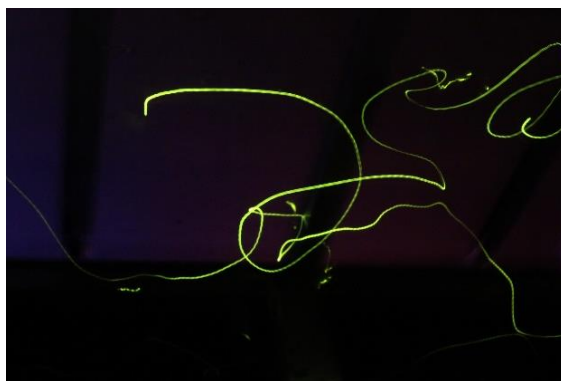
また、ホタルの生態や繁殖への取り組みについて学べる解説パネルも展示いたします。自然の中でなかなか見る機会が少なくなり、幼い頃に見て久しく見ていなかった方やご覧になられたことが無い方も、ホタルの淡く優しい癒しの光をお楽しみいただけます。



※イメージ



※イメージ



ホタルの光の軌跡

期 間	: 6月13日(金)～7月6日(日)
時 間	: 10:00～13:00、14:00～閉館まで ※上記の時間は、光るホタルをご覧いただけます。 上記の時間以外は、昼のホタルの様子をご覧いただけます。
場 所	: 2階 企画展示室



仙台うみの杜水族館
SENDAI UMINO-MORI AQUARIUM

仙台うみの杜水族館のSDGs に対する取り組み 旧マリニピア松島水族館から続く、ホタル展示

当館では、“海と人、水と人との、新しい「つながり」をうみだす水族館”をコンセプトに、すべての人々、生きものたちが未来にわたって健やかに暮らしていけるよう、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを行っております。

ホタルの展示・繁殖は、『旧マリニピア松島水族館』から続く取り組みです。

『旧マリニピア松島水族館』では、2012年から2014年まで毎年ホタル展示を実施しており、当時の飼育スタッフが泉ヶ岳で見たホタルの風景に感動し、お客さまへ伝えたいという想いから始めたものでした。

『旧マリニピア松島水族館』閉館後、一度途絶えたホタル展示・繁殖への取り組みですが、2019年に復活し、『仙台うみの杜水族館』では今回で7回目の展示です。

「ホタルの杜」は期間限定展示ですが、ホタルの繁殖は1年を通じて取り組んでおります。ホタルが成虫でいる期間は10日ほどととても短く、生涯のほとんどを幼虫の姿で過ごすため、成虫まで育てるためには、幼虫期の管理が重要となります。ゲンジボタル・ヘイケボタルの幼虫は水の中で生活をするため、毎日の水替えが欠かせないほか、幼虫たちに安定した食事を与えることも大切です。ゲンジボタル・ヘイケボタルの幼虫は、巻貝しか食べないため、ホタルの飼育とあわせ、巻貝の繁殖・飼育も行っております。安定した繁殖に向け、毎日試行錯誤を続けています。

『仙台うみの杜水族館』では、環境の変化やいのちの大切さをお伝えすることを使命としてとらえ、これからも近い将来姿を消してしまうかもしれない絶滅が危惧される種の繁殖や、その生息環境の保護に積極的に取り組んでまいります。

ゲンジボタル

学名：*Nipponoluciola cruciata*

英名：Japanese firefly

体長約1.5～2cm。本州、四国、九州に分布。

日本固有種で一般的なホタル。水がきれいな川などに生息し、幼虫はエサとなるカワニナを捕食して成長する。



ヘイケボタル

学名：*Aquatica lateralis*

英名：Japanese firefly

体長約1cm。北海道、本州、四国、九州に分布。

ゲンジボタルよりもやや小型。水田や湿地などにも生息し、幼虫は雑食性でカワニナ以外の水生生物も捕食する。





仙台うみの杜水族館
SENDAI UMINO-MORI AQUARIUM

● 期間限定バックヤードツアー ～ホタルの特別解説～

バックヤードツアーは、通常ご覧いただけない水族館の裏側を飼育スタッフと一緒に探検できる人気のオプションプログラムです。水槽の裏側や、生きものたちのごはんをつくる調餌室など、飼育スタッフの解説付きでお楽しみいただけます。

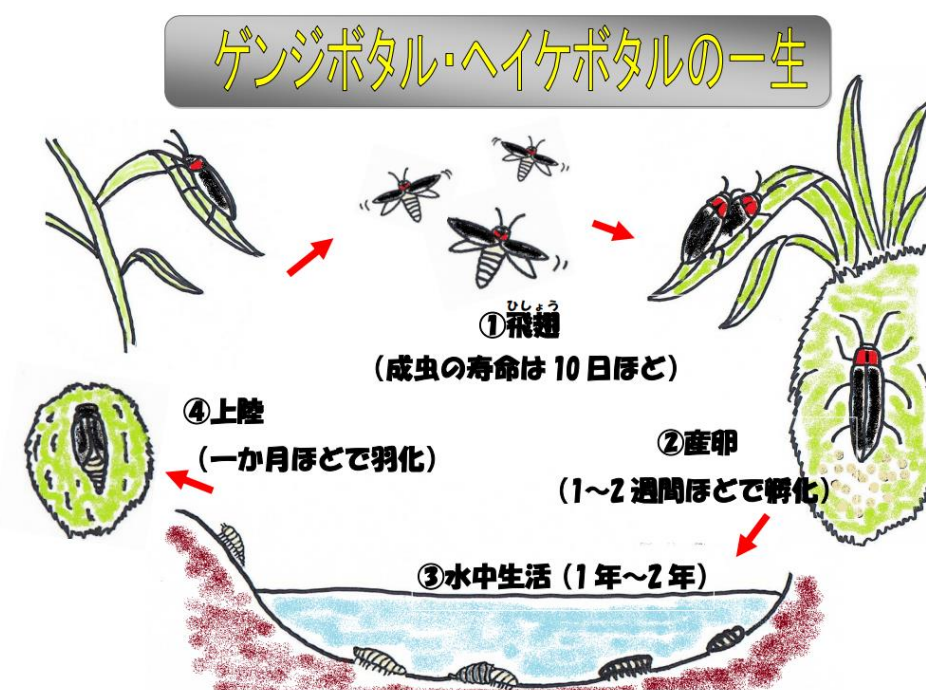
「ホタルの杜」の開催期間限定で、ホタルについての特別解説をお楽しみいただけます。ホタルの羽化（幼虫が成虫になるまでの期間）を飼育管理する部屋にご案内し、ホタルの成長過程や飼育の方法など、ホタルの生態について詳しくお話が聞けます。



バックヤードツアーの様子



ホタルのバックヤード ヘイケボタルの蛹化槽



期 間：6月13日（金）～7月6日（日）

受付場所：エントランス プログラム受付

料 金：500円/1名さま（4才以上）

所要時間：約20分間

定 員：15名/回



仙台うみの杜水族館
SENDAI UMINO-MORI AQUARIUM

一夜限定ホタルのプレミアムナイトイベント開催決定！

～浴衣で楽しむ 夜のホタル観察会～ ホタルナイト水族館

【2025年7月5日（土） 18:00～20:30】

2025年7月5日（土）の閉館後、「ホタルの杜」の開催に際して、ホタルの生態についてさらに詳しく、楽しく学べるナイトイベント「ホタルナイト水族館」を開催いたします。ホタルの生体展示や、河原で輝くホタルの光をイメージしたライトアップ、ホタルの担当飼育員による解説イベントなど、一夜限定のコンテンツが盛りだくさんです。浴衣来館を推奨し、夏を満喫できるイベントです。照明を落とした普段と違った夜の水族館で、ホタルの魅力をたっぷりとお体感いただけます。詳細は、後日お知らせいたします。



【開催概要】

日 程	2025年7月5日（土）		
時 間	18:00～20:30（最終入館19:30）		
料 金	【前売り券】 大人	2,200円（税込）	
	中高生	1,500円（税込）	
	小学生	1,000円（税込）	
	幼児	600円（税込）	
	シニア	1,600円（税込）	

【当日券】 前売り券の金額からそれぞれ+200円。幼児のみ+100円。

※年間パスポートでの入館も可能です。販売はございません。

通常営業チケットでの再入場はできません。

販売場所：前売り券 仙台うみの杜水族館公式HP（<http://www.uminomori.jp>）

当日券 券売機

販売開始：6月6日（金）～公式HPにて販売。